

目標達成計画

作成日: 平成 24 年11月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	理念の実践と継続には、推進会議が重要な役割を持つことを再認識し、柔軟な人員構成と議案の工夫により会議の活性化に努めることが望まれるが、活発な意見交換がなされていない。	推進会議の人員構成の中に 入居者家族を含め、近隣住民の方の参加を呼び掛ける。	参加を促すための便り等の発行により 気軽に参加できる環境を作る。	6ヶ月
2	40	入居者が「どんなものを食べているのか」を体感し、併せて、家庭的な雰囲気醸成することについて不十分である。	毎食 スタッフ(一部)が、入居者と同じ食事を摂り、同じ食卓を囲み 食事中の会話を楽しみながら 家庭的な雰囲気をだす。	カロリー計算をされた ケータリング食である為 スタッフの検食分を追加し、食事に参加。 検食簿をつけると共に 入居者に嗜好調査を行い 食の充実を図る。	3ヶ月
3	10	来訪の少ない家族の意見や要望等の、情報収集や報告を運営に反映させることが不十分である。	家族も援助への参加が出来る様、また遠慮なく意見を言えるよう、普段の生活や体調などを知らせる機会を増やす。	普段の様子や普段の体調をお知らせする手紙を利用者と共に書き 家族に送付する。	3ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。